

令和5年 第2回

区づくり推進横浜市議員会議

会議資料



中 区

区づくり推進横浜市会議員会議

目 次

議 題

- 1 令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について
 - (1) 令和5年度中区個性ある区づくり推進費予算 P 1～3
 - (2) 令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画 . . . P 4～34

安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

多文化共生のまちづくり

地域の活力があふれるまちづくり

地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

<参 考>

中区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計予算） P 35～36

- 2 その他

令和5年度 中区個性ある区づくり推進費予算

1 5年度予算の基本的な考え方

【予算編成の考え方】

横浜市では、4年度に「横浜市中期計画2022～2025」や「行政運営の基本方針」、「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」の3つの市政方針を策定しました。

5年度においては、上記3つの市政方針を踏まえ、「誰もが安心と活力を実感するまち中区～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～」を基本目標に、目標達成に向けた5つの施策に沿って各事業に取り組みます。

災害時における自助及び共助の推進や、安全・安心への取組を進めるとともに、未来を担う子どもたちが健やかに暮らせるまちづくりに取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、新たな日常を見据えた、「まちの賑わい」と「つながりづくり」を意識し、地域活性化や共生社会の実現に引き続き取り組みます。

事業の立案及び推進にあたっては、SDGsの推進や区民の利便性を高めるための行政サービスのデジタル化の視点をもって、取り組んでまいります。

- 【施策1】 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
(「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業)
- 【施策2】 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり
(「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業)
- 【施策3】 多文化共生のまちづくり
(「多文化」等 関連事業)
- 【施策4】 地域の活力があふれるまちづくり
(「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業)
- 【施策5】 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり
(「区民サービス向上」「広報」等 関連事業)

2 中区 個性ある区づくり推進費予算 区分別総括表

(単位：千円)

項目	5年度 A	4年度 B	増△減 C = A - B	増減率 C / B
中区予算案	581,613 (576,339)	572,780 (564,288)	8,833 (12,051)	1.5% (2.1%)
自主企画事業費	100,491 (100,358)	100,719 (100,286)	△ 228 (72)	△0.2% (0.1%)
統合事務費	37,666 (37,396)	37,877 (37,587)	△ 211 (△ 191)	△0.6% △0.5%
統合事業費	15,731 (14,567)	15,490 (14,566)	241 (1)	1.6% (0.0%)
区庁舎・区民利用 施設管理費	427,725 (424,018)	418,694 (411,849)	9,031 (12,169)	2.2% (3.0%)

※上段は事業費、下段（）内は、一般財源の額を記載しています。

3 令和5年度 中区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

施策1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

予算額 20,354千円（対前年度比 △26千円）

共同住宅向けにチラシを作成し、マンション管理組合や管理会社、消防署と連携して、より一層の啓発に取り組みます。また、主に小学生とその保護者を対象とした防災ウォークを実施し、身近な地域における防災上のリスクを啓発します。さらに、区民・事業者・警察・行政等が一体となって、地域特性に応じた防犯対策を推進します。



情報受伝達訓練

施策2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

予算額 17,636千円（対前年度比 △1,856千円）

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、ワークショップによる地域人材の育成に取り組むとともに、認知症への理解や地域の見守り充実に向けた認知症サポーター企業等認証のロゴマークデザインの公募を実施します。また、専門家と連携した子育て講座を開催するなど、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。さらに、小学生の自由研究の題材に活用できる各課事業を取りまとめてパッケージングするなど、区役所全体で地域と子どもをつなげる取組を推進します。



外遊び応援事業

施策3 多文化共生のまちづくり

予算額 13,471千円（対前年度比 △780千円）

第2期「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき、多文化情報の発信や多文化交流に取り組みます。国際交流ラウンジを拠点として、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。特に5年度は、国際交流ラウンジと連携し、若者を中心とした日本人・外国人住民の交流を促進するために、多文化運動会等を実施します。



多文化運動会

施策4 地域の活力があふれるまちづくり

予算額 27,902千円（対前年度比 2,941千円）

中区に拠点を有する大学や企業が実施している取組と連携し、主に小中学生を対象とした学習講座を実施します。また、令和9年の区制100周年に向けた準備を進め、機運醸成を図ります。さらに、地域の様々な主体が連携・協働し、地域課題解決に取り組むことができるよう、自治会町内会を中心とした団体への補助制度を新設するとともに、専門家やコーディネーターを派遣し、地域が自主的に課題解決に向け行動できるよう支援します。



横浜公園での花植えイベント

施策5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

予算額 21,128千円（対前年度比 △507千円）

地域での事業説明や行政手続きなどを進めるため、インターネット通信可能な端末を整備し、区民対応の向上と業務の効率化を図ります。また、職員の人権意識向上に向けた研修を継続して実施します。


4 令和5年度自主企画事業費一覧

(単位：千円)


No.	事業名	5年度	4年度	増△減	所管課	重点	頁
1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり							
1	地域防災力向上事業	9,058	8,503	555	総務課	★	4
2	安全なまち・防犯対策推進事業	2,364	2,639	△ 275	地域振興課		5
3	交通安全啓発・放置自転車対策事業	2,047	1,906	141	地域振興課		6
4	ヨコハマ3R夢プラン推進事業	1,789	2,236	△ 447	地域振興課		7
5	初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業	2,000	2,000	0	区政推進課		8
6	花・緑でまちの環境改善事業	1,050	1,050	0	中土木事務所		9
7	食と暮らしの安全・安心事業	1,235	1,235	0	生活衛生課		10
8	動物適正飼育推進事業	811	811	0	生活衛生課		11
小 計		20,354	20,380	△ 26			
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり							
1	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業	2,064	1,944	120	福祉保健課	★	12
2	健康アシスト事業	2,882	3,389	△ 507	福祉保健課		13
3	地域包括ケアシステム推進事業	2,131	1,451	680	高齢・障害支援課	★	14
4	障害児・者ネットワーク支援事業	960	960	0	高齢・障害支援課		15
5	みんなで子育て事業	4,005	6,698	△ 2,693	こども家庭支援課	★	16
6	みんなでSTOPザ虐待	4,694	5,050	△ 356	こども家庭支援課	★	17
7	なかくっ子はぐくみ事業	900	0	900	区政推進課 こども家庭支援課	★	18
小 計		17,636	19,492	△ 1,856			
3 多文化共生のまちづくり							
1	多文化情報発信事業	3,363	4,043	△ 680	区政推進課		20
2	多文化共生まちづくり事業	1,850	1,250	600	区政推進課	★	21
3	多文化交流事業	8,258	8,958	△ 700	地域振興課		22
小 計		13,471	14,251	△ 780			
4 地域の活力があふれるまちづくり							
1	「中区愛」はぐくみ事業	5,279	3,976	1,303	総務課 区政推進課 地域振興課 中土木事務所	★	23
2	まちづくり推進事業	1,634	1,634	0	区政推進課		24
3	自治会町内会活動支援事業	3,843	3,343	500	地域振興課		25
4	みんながつながる地域づくり事業	1,240	0	1,240	地域振興課	★	26
5	商店街魅力アップ事業	3,500	3,300	200	地域振興課		27
6	インクルーシブスポーツ推進事業	2,345	2,345	0	地域振興課		28
7	スポーツ・青少年事業	3,550	3,852	△ 302	地域振興課		29
8	区民活動支援事業	2,886	2,886	0	地域振興課		30
9	ハローよこはま	2,925	2,925	0	地域振興課		31
10	都市間交流事業	700	700	0	総務課 区政推進課 地域振興課		32
小 計		27,902	24,961	2,941			
5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり							
1	区役所サービス環境向上事業	17,269	15,106	2,163	総務課	★	33
2	広報・案内事業	3,859	6,529	△ 2,670	区政推進課		34
小 計		21,128	21,635	△ 507			
合 計		100,491	100,719	△ 228			

令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画


1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名		事業内容
1 地域防災力向上事業★		<p>中区防災計画に基づき地域防災力の向上を図ります。特に区民の自助・共助の意識醸成のため、横浜市避難ナビアプリの周知やコミュニティFMを活用した防災情報発信等に引き続き取り組みます。また、共同住宅に対する啓発を重点課題として取り組みます。引き続き、2年度に実施した女性視点WGの検討結果を踏まえた拠点運営を各地域防災拠点で進めます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域及び企業等に対する減災支援（防災講話、防災まち歩き） イ 共同住宅に特化した啓発 管理組合や管理会社を対象にした説明会及び居住者向けの啓発 ウ オンライン防災講演会（6年3月配信） エ 地震・風水害・崖防災対策等の啓発 コミュニティFM等を活用した防災情報の発信（月1回）、即時避難指示対象区域（約100世帯）の住民へ早期の避難行動等の周知 オ 関東大震災100年を契機とする啓発（防災講座（7月）、都市発展記念館と連携した巡回パネル展など） <p>(2) 災害時の担い手育成事業 防災出前教室（区内小中学校）、防災ウォーク（中学生には「地域防災拠点支援ガイド」（日英中）、「はまっこ防災ガイド」を活用）</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 （ア）本部運営訓練、（イ）情報受伝達訓練の実施（6年1月） （ウ）帰宅困難者対策会議（12月） イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策 （ア）地域防災拠点に女性視点WGの検討結果を踏まえた備品（パーテーション（各2張）・蓄光テープ（各5本）等）を独自に配備 （イ）マリンFMの緊急割込み放送やタブレット・スマートフォン等を活用した情報受伝達手段の活用
横浜市中期計画2022～2025		
戦略8	政策34、政策35	
 <p>防災講話の様子</p>		
令和5年度	9,058千円	
令和4年度	8,503千円	
増△減	555千円	
所管課	総務課	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 減災行動啓発事業												
ア 地域及び企業等に対する減災支援	← 防災まち歩き・減災説明会・防災減災推進研修（自治会・町内会の支援）の実施 →											
イ 共同住宅に特化した啓発	← 管理組合・管理会社への働きかけ・広報・説明会 →											
ウ 防災・減災講演会	← 関係機関と調整 → 配信 ●											
エ 地震・風水害対策等の啓発	← ポスティング ● 広報よこはま ● 通年 マリンFM ● 広報よこはま ● →											
オ 関東大震災100年を契機とする啓発	← 講演会 ● 通年：啓発 →											
(2) 災害時の担い手育成事業												
防災出前教室	← 学校と調整及び実施・防災ウォーク支援 →											
(3) 防災訓練・災害対策事業												
ア 防災訓練	← 本部運営・福祉避難所開設訓練（風水害） ● 本部運営訓練 ● 帰宅困難者対策会議 ● 情報受伝達訓練 ● →											
イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策	← 拠点運営委員会との調整及び実施 ● 本部備品整備（パーテーション・蓄光テープ等） ● →											

事業名		事業内容
2 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催 (5/23) イ 各種防犯キャンペーンの実施 (5月・10月) ウ ハローよこはまへの出店 (11/12) エ 「寄席de防犯」の開催 (6年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催 (年5回)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円) ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、市立小学校 (4月に新1年生へ防犯ブザー配付)</p> <p>(4) 防犯教室・講座事業 (427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>こども防犯教室</p>		
令和5年度	2,364千円	
令和4年度	2,639千円	
増 △ 減	△275千円	
所管課	地域振興課	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業													
ア 総会の開催		●総会(5/23)											
イ 各種防犯キャンペーンの実施		←→	安全・安心まちづくり旬間 ・防犯キャンペーン ・早朝キャンペーン				←→	安全・安心まちづくり旬間 ・防犯キャンペーン ・早朝キャンペーン					
ウ ハローよこはまへの出店								●ハローよこはま(11/12)					
エ 「寄席de防犯」の開催											●		
オ 地域自主防犯活動委員会の開催		●		●		●		●			寄席de防犯(2月)	●	
(2) 防犯情報配信事業		安全・安心メールの配信、区役所デジタルサイネージでの情報発信											
(3) 中区地域防犯活動支援事業		防犯ブザーの貸与(4月)					防犯物品貸与(随時)	活動費助成(上半期交付)					
(4) 防犯教室・講座事業		こども向け防犯教室(保育園・学校の希望により随時)											

事業名		事業内容
3 交通安全啓発・放置自転車対策事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略5 政策28  ハローよこはま2022 中区交通安全対策協議会		区内で多発する高齢者や自転車の交通事故対策及び放置自転車・バイクの対策などについて、各警察署や地域等の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動を通して、交通事故防止と自転車等の放置防止に取り組みます。 (1) 交通安全啓発事業 (1,897千円) ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用(中区交通安全対策協議会共催) (7月～) ウ スクールゾーン対策の実施 (6月～) エ 各団体への補助金交付 (5～7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 保護者向け自転車マナー啓発チラシ等を配布 (5月～) ク 中区役所内のデジタルサイネージに自転車マナー啓発を掲載 ケ 中区内のサイクルショップに自転車ルール啓発チラシ等を配布 (2) 放置自転車対策事業 (150千円) ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び協力 ウ 放置自転車等移動要望への対応 <参考> (道路局区配付予算) ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現)方式による交通安全教室の中学校での開催 (7月)
令和5年度	2,047千円	
令和4年度	1,906千円	
増 △ 減	141千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 交通安全啓発事業		総会・功労者表彰 ● (4/27) ● キャンペーン						● 幹事会		● ハローよこはま (11/12)		● 幹事会
ア 中区交通安全対策協議会への支援		●						●				●
イ 中区交通安全こどもポスターコンクール						← 募集～審査～表彰			← 展示			← 作品活用
ウ スクールゾーン対策			← 各協議会への参加・調整						← 路面標示、電柱巻等対策			
エ 各団体への補助金交付		←	→									
オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会へ支援			● 総会					● 養成研修		● 交通安全研修会		
カ 交通安全教室・交通安全運動への協力			← はまっ子交通あんぜん教室									
キ 保護者向け自転車マナー啓発						← リーフレット配布						
(2) 放置自転車対策事業												
ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援			← 禁止区域拡大検討									← 地域への説明や協議会に向けた準備等
イ 放置自転車等が多い場所への対策・検討及び実施								← 随時				
ウ 放置自転車等移動要望への対応								← 随時				
<参考 放置自転車等監視業務>								← 通年				

事業名		事業内容
4 ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で全市的に10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」の達成、及び「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進に取り組みます。特に、食品ロスの削減やワンウェイプラスチックの削減等の特定のごみの削減に重点を置き、区役所や学校、講演会などを通して区民の方々への啓発に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (160千円) ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 イ 庁舎内設置の資源回収BOX (小型家電、水銀含有製品等)、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップ事業 (500千円) 区民・事業者・ボランティア団体との協働による清掃イベント、「中区クリーンアップDAY」を通じ、きれいな街づくりを推進します。</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円) まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (561千円) ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ (9回) や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 イ 不法投棄防止に係る啓発 ウ 外国人向けの啓発 (チラシ作成、分別講座)</p> <p>(5) 美化推進者表彰 (200千円) まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略3	政策19	
 <p>中華街クリーンアップ</p>		
令和5年度	1,789千円	
令和4年度	2,236千円	
増△減	△447千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動	<p>中区分別相談窓口、店頭啓発、区内学校・ボランティアとの協力</p> <p>山下会子どもフェス ●</p> <p>ハローよこはま出店(11/12) ●</p>											
(2) 中区クリーンアップ事業	<p>小型家電回収ボックス、インクカートリッジ里帰りプロジェクト、中区リユース文庫、イベント用ごみ箱貸出 (通年)</p> <p>中区クリーンアップDAY ●</p>											
(3) 美化運動支援事業	<p>日本列島クリーン大作戦 ●</p> <p>クリスマスクリーンアップ ●</p>											
(4) まちの美化対策事業	<p>その他のボランティア清掃の支援 (通年)</p> <p>中華街クリーンアップ ●</p>											
(5) 美化推進者表彰	<p>区内の不法投棄場所の対策、外国人へのごみ分別対策 (通年)</p> <p>推薦依頼 ●</p> <p>準備 ●</p> <p>表彰式 ●</p>											

事業名		事業内容
5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業		<p>当該地域では、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会と行政との連携・協働により、安全・安心のまちづくりが進められてきましたが、新たな住民の増加により過去の事実やまちの安全安心に対する認識が薄れていく恐れもあり、予断を許さない状況です。また、まちの活性化に向けて参画者・担い手を一層増やしていく必要があります。</p> <p>地域に関わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携した子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しており、このような活動の中心となる協議会等への支援を通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 環境浄化活動支援補助金 (500千円) ア 協議会定例会等の開催 (毎月) イ 防犯啓発活動等の実施 (防犯パトロール毎月ほか) ウ 広報活動 (まちづくりニュースの発行ほか)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円) ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援 イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略6	政策29	
 <p>令和4年度の防災訓練の様子</p>		
令和5年度	2,000千円	
令和4年度	2,000千円	
増 △ 減	0千円	
所管課	区政推進課	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 環境浄化活動支援補助金	協議会定例会等の開催(毎月)、まちづくりニュースの発行(4半期ごと)、防犯パトロール(毎月27日)											
		補助金交付決定 補助金交付	●		●		●			●		
(2) 地域活動を支える運営組織の強化	運営組織支援											
(参考) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会及び地区内における主な活動		● 協議会総会			● 打ち水イベント				● 20周年記念式典	● 防災炊出し		
	イベント(春のバザール・夏休み子どもバザール・秋のバザール・冬等年間7企画を予定)											

事業名		事業内容
6 花・緑で まちの環境改善事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策9		<p>本事業では、区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行うものです。</p> <p>また、夏場の省エネや温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小中学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベント、園芸講習会を開催します。さらに、区役所や公園の花壇やプランターの植栽整備を行い、国際園芸博覧会の機運醸成とおもてなしの環境づくりを目指します。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 (550千円)</p> <p>ア 花苗提供 1,800株</p> <p>イ プランター設置・維持管理 11か所 実施予定箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、大和町、柏葉公園、西の橋、長者町、竹之丸、山手駅、開港広場公園、鷺山公園</p> <p>ウ 種まきイベント（春・秋） 6か所 実施予定箇所 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園</p> <p>エ 花緑のカーテン設置 4か所 実施予定箇所 山手保育園、横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所</p> <p>(2) 普及啓発事業 (50千円)</p> <p>園芸講習会 2回（年） 概要 9月 秋季園芸講習会 6年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人</p> <p>(3) イベントおもてなし事業 (450千円) 花壇やプランターの植栽整備・国際園芸博覧会の機運醸成</p>
令和5年度	1,050千円	
令和4年度	1,050千円	
増 △ 減	0千円	
所 管 課	中土木事務所	




種まきイベントで育てた苗を植えたプランター（竹之丸保育園）

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
花苗提供・花壇設置		花苗900株 花壇11か所						花苗900株 花壇11か所				
種まきイベント		種まきイベント6か所						種まきイベント6か所				
花緑のカーテン		花緑のカーテン4か所										
普及啓発						●					●	
イベントおもてなし												

事業名		事業内容
8 動物適正飼育推進事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策7		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組めます。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (623千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施します。(4月、3会場実施)</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施します。</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施します。</p> <p>エ 啓発用動画等を作成し、飼い主向け講習を実施することにより、動物の適正な飼い方に係る知識の普及を行います。</p> <p>オ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出しを行います。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (188千円)</p> <p>ア 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット同行避難に関する展示や同行避難訓練等の実施についての提案、支援を行います。</p> <p>イ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進します。</p>
 <p>地域防災拠点における ペット一時飼育場所設置例</p>		
令和5年度	811千円	
令和4年度	811千円	
増△減	0千円	
所管課	生活衛生課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 動物適正飼育推進事業												
ア 予防注射会場での啓発	●											
イ イベント会場での啓発						●		●		●		
ウ 大規模公園での啓発						巡回指導の実施						
エ 飼い主向け啓発講習会							啓発用動画作成				●	
オ 地域猫活動支援		機材貸出や地域への啓発の支援									公開	
(2) 災害時ペット対策推進事業												
ア 地域防災拠点訓練等での啓発			拠点運営委員会への説明				拠点訓練における啓発実施					
イ 地域防災拠点における受入れ体制検討支援			活動支援の実施									


2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策10		コロナ禍により、ここ数年は人との接触機会が制限され、以前のような地域での活動も難しい状況でした。 5年度は、誰もが安心して暮らせるまちにするための中区地域福祉保健計画について、さらなる周知を進めるとともに地域福祉保健計画に基づいた地域の福祉保健に関する活動を推進します。 (1) 中なかいいネ！推進会議の運営 (435千円) 区推進会議や地区別推進会議により、見守り力を高める「えん結び」と健康づくりの「元気いっぱい」の地域活動を推進します。 (2) 計画推進のための取組 (1,314千円) ア 計画の周知 計画概要版と地区別計画のリーフレットを、区民が集まるイベント等で配布するとともに、広報よこはまの連載やホームページ、SNS、区役所でのパネル展等で周知します。また、地域で活動している団体等に説明し、理解を広げます。 イ 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会、地域ケアプラザとの連携により、各地区の計画の取組を支援します。 ウ 中なかいいネ！発表会の開催 地域で行われている見守り等の助け合いやまちぐるみの健康づくりの取組を紹介し、その活動を他地区へ広げていきます。 (3) 人材の育成 (315千円) ア 地域人材の育成 地域活動者の活動の幅を広げ、団体間や自治会・町内会と協働するきっかけづくりのためのワークショップを開催します。 イ 地域支援従事者研修 地域支援を行う、区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員向けに研修を開催します。
 中なかいいネ！ シンポジウム		
令和5年度	2,064千円	
令和4年度	1,944千円	
増△減	120千円	
所管課	福祉保健課	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中なかいいネ！推進会議の運営		● 中なかいいネ！ 推進会議					● 中なかいいネ！ 推進会議					● 中なかいいネ！ 推進会議
地域支援チームによる13地区の支援	● 地域支援 チーム 発足	● 地域支援 合同研修										
計画の周知				● 広報 なか区版 特集	● 広報 なか区版 連載記事		● 広報 なか区版 連載記事		● 広報 なか区版 連載記事			● 広報 なか区版 連載記事
中なかいいネ！発表会の開催												● 中なかいいネ！ 発表会
地域人材の育成								● 地域人材育成 ワークショップ				
地域支援従事者研修						● 地域支援 従事者研修						

事業名		事業内容
2 健康アシスト事業		区民が自身の健康に関心を持ち、身近な健康づくりが実践できるよう、健康教育やウォーキング等の健康づくり活動の支援・啓発を行います。
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策7	
		
てくてくウォーキング事業 (歩行姿勢測定とウォーキングアドバイス) @子育て支援拠点		
令和5年度	2,882千円	
令和4年度	3,389千円	
増 △ 減	△507千円	
所管課	福祉保健課	(1) 健康ナビゲーション事業 (786千円) 子育て働き世代を重点に、健康測定(体組成計等)や保健指導により健康づくりのきっかけを提供し、生活習慣病の予防に取り組みます。 (乳幼児健診、がん検診、健康づくりのイベント、子育て支援拠点の各会場にて実施)
		(2) てくてくウォーキング事業 (535千円) 地域と協働し、子育て支援拠点等で講座を行い、各地区でのウォーキング活動を定着させます。
		(3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21) (250千円) 多くの人が集まる区民祭りの場を活用し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動を行います。
		(4) 安心子育て妊娠糖尿病対策事業 (150千円) 妊娠糖尿病既往者等の糖尿病ハイリスク者に対し、乳幼児健診等を活用した啓発および健康教育を実施します。
		(5) 食育推進事業 (572千円) 年代別の個別食事相談や講座、食育イベントを開催し、食育従事者向け研修、食育ネットワーク会議を開催します。
		(6) 歯科口腔保健対策事業 (589千円) 子育て支援拠点や高齢者の通いの場と連携し、妊娠中から高齢者までライフステージに応じた口腔疾患の予防と健康増進の啓発を行います。


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
(1) 健康ナビゲーション事業	4か月時健診時に健康チェック及びアドバイスを実施													
(2) てくてくウォーキング事業				●機器取り扱い研修		●広報：健診結果の見方		●広報：ウォーキング						
(3) 健康づくり月間事業			●パパ・ママ向け講座(6/2)			●ウオーキングリーダー研修(9/28)								
(4) 安心子育て妊娠糖尿病対策事業			●実行委員会 開催準備							●ハローよこはま同時開催(11/12)				
(5) 食育推進事業			4か月時健診時に通年で啓発実施											
ア 食育推進			子育て支援拠点での食事相談 1回/月											
イ 従事者支援			●食育マルシェ(6/14)				●SDGsマルシェ(10/11)			●大人の食育講座				
(6) 歯科口腔保健対策事業			●食育展(6/2～22)				●従事者研修(10/2)				●ネットワーク会議			
			子育て支援拠点 17回/年											
			保健活動推進員 4回/年											
			寿地区 13回/年											
			外国人妊婦向け 2回/年											
			●広報：オーラルフレイル				●親子歯周病講座(9/21)							

事業名		事業内容	
3 地域包括ケアシステム推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策15  グラウンドゴルフ大会 (中区老人クラブ連合会)		「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」(4年3月策定)に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症に優しい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。	
		(1) 高齢者の地域交流促進 (674千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援します。 ア 老人クラブ連合会の行事支援 (5月：グラウンドゴルフ大会、6月：ふれあい運動会、9月：老人福祉大会、5月～6年2月：ノルディックウォーキング) イ 老人クラブへの加入促進 ウ 敬老月間事業 (9月予定)	
		(2) 介護予防事業 (725千円) ア 高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、介護予防普及啓発イベントを開催 (10月4日) イ 介護予防リーフレットを小学生を含め配布 (7月)	
		(3) 認知症支援事業 (732千円) ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談を実施 (年18回) イ 認知症サポーター企業等の認証 【拡充】 中区認知症サポーター企業等認証制度をはじめ、認知症理解の普及啓発のためロゴマークのデザインを公募 (7～10月)。登録企業やキャラバンメイト等支援者が広告や名刺等に使用し、啓発につなげる。	
令和5年度	2,131千円		
令和4年度	1,451千円		
増△減	680千円		
所管課	高齢・障害支援課		


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 高齢者の地域交流促進		●	●	●		●						
ア 老人クラブの行事支援		● (5/22)	● (6/16)	● (6/16)		●						
イ 老人クラブへの加入促進												
ウ 敬老月間						●						
(2) 介護予防事業												
ア 普及啓発イベント開催							●					
イ リーフレット配布												
(3) 認知症支援												
ア 介護者支援事業												
イ 企業等認証												

事業名		事業内容
4 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (495千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (410千円) ポレポレグッズ(障害者作業所製品)の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア ポレポレグッズカタログ更新・増刷 イ 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助(4月) ウ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援(各6回) エ 区役所内定期販売会の支援(12回)、中区SDGsマルシェでの販売支援(12回) オ プロスポーツチームと連携したポレポレグッズの販売 カ 横浜武道館での卓球大会での販売(6回)</p> <p>(3) 障害者理解推進事業 (55千円) 「共生社会」(障害者差別解消法)に向け障害に対する理解を促進するため地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 障害理解のための啓発ポスター「それをするには理由がある」増刷</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策13	
 <p>ポレポレグッズカタログ 「なかなかいよいよ」</p>		
令和5年度	960千円	
令和4年度	960千円	
増△減	0千円	
所管課	高齢・障害支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 関係機関連携推進事業												
ア 自立支援協議会	← 事務局会議(毎月)・代表者会議(5月)・合同担当者会議(7.3月)・5専門部会 →											
イ 研修会の開催	← 各部会にて開催 →											
(2) ポレポレグッズ推進事業												
ア カタログ更新・増刷							●更新・増刷					
イ 補助金交付	●						●					
ウ 委員会開催支援		●		●		●		●		●		●
エ 区役所内定期販売会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オ プロスポーツチームと連携した販売	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カ 武道館で行われる卓球大会での販売	●	●		●			●		●		●	
(3) 障害理解推進事業												
ア インクルーシブスポーツ体験		●										
イ ポレポレ祭り							●					

事業名		事業内容
5 みんなで子育て事業★		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所や地域の資源、特性を生かして、子育て支援を推進します。また、行政が地域や家庭と連携し、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みます。</p> <p>(1) コンパス事業 (421千円) 不安や悩みを抱える人が心豊かに子育てができるよう、専門家による子育て講座を開催します。また、グループトークで保護者同士が話し合い、同じ悩みを共有することで、子育て不安の解消につなげます。</p> <p>(2) 外遊び応援事業 (100千円) 子どもの心と体の健やかな成長を育み、地域の方と交流できるよう、身近な公園で親子と一緒に過ごせる外遊びの機会を作ります。(年7回)</p> <p>(3) 保護者向け保育所等情報提供 (214千円) 「中区保育所等のしおり」を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等で配布します。(4,200部・10月配布予定)</p> <p>(4) おでかけスポットマップ (596千円) 子育て家庭が安心して楽しく地域の方と交流できるよう、区内の子育て支援施設の情報をまとめた「おでかけスポットマップ」を作成します。(4,000部・6年3月)</p> <p>(5) 外国人向け両親教室 (103千円) 外国につながる区民が安心して子育てできる環境づくりのため、在住者の多い中国語を母語とする方向けの両親教室を実施します。(6月・12月)</p> <p>(6) 中国語窓口案内補助 (2,571千円) 各種手続・相談等に対応するため、窓口中国語通訳を配置します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略1	政策1、政策2	
 <p>コンパス事業</p>		
令和5年度	4,005千円	
令和4年度	6,698千円	
増 △ 減	△2,693千円	
所管課	こども家庭支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) コンパス事業							●	●	●			
(2) 外遊び応援事業	●	●	●			●	●	●				●
(3) 保護者向け保育所等情報提供							●					
(4) おでかけマップの作成										←————→		
(5) 外国人向け両親教室			●						●			
(6) 中国語窓口案内補助	←————→											

事業名		事業内容	
7 なかくっ子はぐくみ事業★ 新規 横浜市中期計画2022～2025 戦略1 政策6		<p>子どもと家族が地域との関わり合いを深めることで、地域が子育ての受け皿となり、未来を担う子どもたちが健やかに暮らせるよう、地域と子どもをつなぐ取組を推進します。</p> <p>こども家庭支援課以外の各課の既存事業にも、「子ども・子育て支援」の視点を積極的に盛り込み、庁内プロジェクトで連携の仕方などを議論しながら進めていきます（次頁「子ども・子育て支援推進事業一覧」参照）。さらに新たな取組として、共通ロゴマークの活用や自由研究に活用できる事業一覧を作成するなど、子ども関連事業を区役所一丸となって進めていきます。</p>	
 <p>保育園児駅伝大会での龍舞</p>		<p>(1) 地域と子どもをつなぐまちづくり事業 (300千円)</p> <p>ア 各課で取り組んでいる子ども・子育て関連事業を区役所全体で推進するため、共通のロゴマークを作成します。既存事業を含め、広報チラシ等への掲載など、ロゴマークを活用することで、子ども・子育て関連事業の一体感を高め各課連携を促進し、区民への各事業の浸透を図ります。</p> <p>イ 各課の取組について、小学生の自由研究の題材に活用できる事業を取りまとめ、区内の小学校に情報提供するなど、子育て家庭が事業を知るきっかけづくりを推進します。</p>	
令和5年度	900千円	<p>(2) 保育園児駅伝大会での多文化共生推進 (600千円)</p> <p>平成22年度から毎年、中区内で開催している、保育園5歳児による駅伝大会において、「龍舞」体験コーナーを設け、龍舞を参加園児に体験してもらうことにより多文化への理解を深めます。</p>	
令和4年度	0千円		
増△減	900千円		
所管課	区政推進課 こども家庭支援課		

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域と子どもをつなぐまちづくり事業		●										
		庁内プロジェクト					事業の推進					
ア 共通ロゴマークの作成及び活用	●	●										
	デザイン委託契約	デザイン確定					ロゴマーク活用					
イ 小学生向け夏休み自由研究一覧の作成			●	●	●	●						
		小学校長会周知	小学校長会周知	夏休み・自由研究期間	小学校長会フィードバック							
(2) 保育園児駅伝大会		●										
		第1回運営委員会			開催準備 (日程調整・会場確保・業務委託)				開催			


中区における子ども・子育て支援推進事業一覧 ※こども家庭支援課所管事業を除く

5年度予算の編成にあたり、P2に掲載した5つの施策に共通する視点として、「子ども・子育て支援」を掲げ、こども家庭支援課だけではなく、各課がそれぞれ得意とする分野で、「子ども・子育て支援」に資する取組を企画しています。


(単位:千円)

事業名(掲載ページ)	所管課	取組内容	令和5年度 予算額
地域防災力向上事業(P4)	総務課	災害時の担い手育成事業 ・小中学校での防災出前教室の実施 ・主に小学生及び保護者を対象とした防災ウォークの支援	637
安全なまち・防犯対策推進事業(P5)	地域振興課	防犯教室・講座事業 ・子どもを対象にした防犯教室	427
交通安全啓発・放置自転車対策事業(P6)	地域振興課	交通安全啓発事業 ・中区交通安全こどもポスターコンクールの実施 ・スクールゾーン対策の実施	1,897
花・緑でまちの環境改善事業(P9)	中土木事務所	花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 ・保育園児による種まきイベントの実施 ・保育園及び小学校へ緑のカーテン設置	550
なかくっ子はぐみ事業(P18)	区政推進課	地域と子どもをつなぐまちづくり事業 ・各課ごとに取り組んでいる子ども・子育て関連事業を区全体で推進 ・小学生の自由研究に向けた「地域資源を活用した中区のパッケージ」を各課連携で創出	300
多文化共生まちづくり事業(P21)	区政推進課	多文化共生交流促進事業 ・子どもを中心とした「多文化運動会」等の実施	1,000
「中区愛」はぐみ事業(P23)	総務課 区政推進課 地域振興課 中土木事務所	チューリップであふれるまち事業 ・保育園や小学校と協力・連携した植付けイベントの実施	420
		魅力マップ活用事業 ・小学校の夏休みの宿題として「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の活用を促進	1,395
		中区って「イイネ！」フォトコンテスト2023 ・子どもや青少年の参加を促進	424
		横浜マイスター技能魅力発信事業 ・中区内に在住・在勤する横浜マイスターを小中学校に派遣し、技能の魅力を発信	150
		大学・企業等連携事業 ・中区内に拠点を有する大学及び企業等と連携し、主に小中学生を対象とした講座を実施	330
まちづくり推進事業(P24)	区政推進課	SDGs推進事業 ・区内在住の子どもを対象とした研修等の実施	400
商店街魅力アップ事業(P27)	地域振興課	SDGs商店街プロジェクト事業 ・小学校と連携した「お仕事体験」等を通して、こどもたちの地域や商店街に対する愛着を醸成	800
スポーツ・青少年事業(P29)	地域振興課	プロスポーツチーム等との連携事業 ・区内小中学校を対象としたスポーツ教室の実施	555
		青少年育成事業 ・青少年育成団体への事業費補助の実施 ・青少年を対象としたイベントの実施	1,015
		ウォークラリー推進事業 ・青少年を含む区民を対象としたウォーキングイベントの実施	700
合計			11,000


3 多文化共生のまちづくり

事業名		事業内容
1 多文化情報発信事業		<p>人口の約1割を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信します。在住外国人に対し、情報提供を行うことで多文化共生を推進します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業 (2,369千円) ア 発行回数及び発行部数 (ア) 「Naka Ward Town News」 (英語版) 4回 各4,200部 (イ) 「春夏秋冬」 (中国語版) 4回 各4,400部 (ウ) 「中区多言語広報紙」 (日本語版) 4回 各1,000部 イ 内容：中区在住の外国人住民に役立つ生活情報、行政情報等</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業 (994千円) ア 言語：英語、中国語、ハングル、やさしい日本語 イ 回数：月1回 ウ 内容：広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策11	
 <p>多言語広報紙</p>		
令和5年度	3,363千円	
令和4年度	4,043千円	
増 △ 減	△680千円	
所管課	区政推進課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 多言語広報紙発行事業	● 発行 (春号)	編集	→	● 発行 (夏号)	編集	→	● 発行 (秋号)	編集	→	● 発行 (冬号)	編集	→
(2) 多言語ホームページ運営事業	← ホームページ運営 (通年) →											


事業名		事業内容	
2 多文化共生 まちづくり事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策11  4年度多文化共生交流イベントの様子		<p>「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき国籍やルーツによらず誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。また、外国人住民の居住実態や、生活意識・ニーズを把握し、多文化共生の取組・施策立案等の基礎資料として活用します。</p> <p>2年度に改定した第2期アクションプラン（計画期間：3年度～6年度）の基本目標「基礎的支援の充実」「地域とのつながりづくり」に基づき施策を推進していきます。</p> <p>(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業（350千円） 区民・職員の多文化共生意識の醸成や各課が取り組む多文化共生施策の推進支援を行います。区民に対しては「多文化共生ボランティア入門講座」等を実施することで多文化理解の向上と地域における支援の担い手育成を図り、職員向けには「やさしい日本語」研修を実施することで外国人住民がわかりやすい応対を推進します。</p> <p>また、第2期中区多文化共生推進アクションプランの重点取組である「地域とのつながりづくり」について、今後のより一層の推進と次期プランの改訂も見据え、令和6年度外国人意識調査に向けた実施準備・検討を行います。</p> <p>(2) 多文化共生交流促進事業（1,000千円） 拡充 区内の支援団体等やなか国際交流ラウンジと連携し、日本人・外国人住民の交流促進や共生社会の実現に向け、「多文化運動会」やNPO団体と連携したイベント等を実施します。</p> <p>(3) 多言語翻訳機器充実事業（500千円） 行政情報の多言語発信や多言語による窓口対応を円滑に行うため、前年度に引き続き多言語翻訳機器を運用します。</p>	
令和5年度	1,850千円		
令和4年度	1,250千円		
増△減	600千円		
所管課	区政推進課		

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業	← 推進支援の企画・検討 →		← 実施準備 →			← 研修等の実施 →						
(2) 多文化共生交流促進事業	← 多文化運動会の企画・実施準備 →				● 運動会開	← 調査の準備・検討 →						
(3) 多言語翻訳機器充実事業	● 導入	← 関係課への利用周知、運用 →										
	← 企画・検討 →		← 実施準備 →			← NPO連携イベント等の実施 →						


事業名		事業内容
3 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 (3,393千円)</p> <p>ア 地域連携事業：地域ヒアリング等を行い、情報収集やボランティアの活躍の場の発掘など地域との連携を図ります。</p> <p>イ 人材育成事業：外国ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所づくりを通じて、地域人材を育成します。</p> <p>ウ 多文化共生ボランティア養成講座 (計12回程度)</p> <p>エ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (年2回)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 (1,604千円)</p> <p>ア 定期教室 (前期：5～10月、後期：11～3月)</p> <p>イ スタート教室 (定期教室と同時開催：週2回・10人/回)</p> <p>(3) 多文化共生理解事業 (885千円)</p> <p>ア 多文化共生理解講座等の実施 (年3回)</p> <p>イ 中区多文化フェスタ開催 (年1回)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 (616千円)</p> <p>自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (748千円)</p> <p>各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (1,012千円)</p> <p>＜参考＞生活ガイダンス事業 (2,800千円・国際局区配) 新規転入外国人向けにタブレットを活用した生活ガイダンスを実施</p> <p>＜参考＞地域連携強化事業 (4,500千円・国際局区配) 外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地区定例会の参加や連携地域での多文化共生事業等を実施</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策11	
 <p>日本語学習支援の様子</p>		
令和5年度	8,258千円	
令和4年度	8,958千円	
増 △ 減	△700千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域連携・人材育成事業 ア 地域の情報収集・地域連携												
ウ 多文化共生ボランティアの養成												
エ ボランティア日本語教室連絡会												
(2) 日本語学習支援事業 ア 日本語教室												
(3) 多文化共生の理解促進事業 ア 多文化理解講座 イ 中区多文化フェスタ												
(4) 多文化共生ボランティア活用事業												
(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施												
〈参考：国際局区配付予算〉 生活ガイダンス事業												

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1 「中区愛」はぐくみ事業★		<p>区民や大学・企業等の区内事業者と連携し、区の魅力を発信・再発見することで、「中区愛」をはぐくみ、地域の活性化・元気づくりにつなげます。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 (420千円) 区の花チューリップをより広めるため、保育園や小学校、区民利用施設等での球根植付けイベントや、区民向け球根の配布を行います。</p> <p>(2) 中区みんなのマスコット「スウィンギー」事業 (560千円) 中区制80周年を記念し、マスコットキャラクターとして中区民により選ばれた「スウィンギー」を各種イベントに派遣するほか、PRグッズ等を作成します。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (1,395千円) 区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」外国語版第8版の発行・配布を行います。また、絵地図を活用した、まち歩きイベントを企画します。</p> <p>(4) 中区って「イネ！」フォトコンテスト2023 (424千円) 拡充 作品募集期間を学校の夏休み前から設定するなど、参加しやすい環境を整えます。また、受賞作品の活用については市庁舎アトリウムでの展示のほか小中学校や区民利用施設等、地域での展示を行い、中区の魅力を区民に積極的にPRします。</p> <p>(5) 横浜マイスター技能魅力発信事業 (150千円) 中区に在住・在勤する横浜マイスターを学校や各種イベント等に派遣し技能の魅力について、講演等を行います。</p> <p>(6) 大学・企業等連携事業 (330千円) 新規 区内の大学・企業等と連携し、SDGs講座や職業体験学習の実施、区内の魅力PRなどを進めます。</p> <p>(7) 区制100周年に向けた情報収集と機運醸成事業 (2,000千円) 新規 区制100周年に向けた準備を進めるほか、区民全体の機運向上を図ります。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策10	
		
チューリップであふれるまち事業		
令和5年度	5,279千円	
令和4年度	3,976千円	
増△減	1,303千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課 中土木事務所	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) チューリップであふれるまち事業	照会		球根発注		地域への球根配布		配布会イベント					
(2) 中区みんなのマスコット「スウィンギー」事業	各イベントへの派遣及びチラシ等でのイラスト使用 (通年)											
(3) 魅力マップ活用事業	外国語版翻訳・版下作成					まち歩きイベント		関連グッズの作製・配布				
(4) 中区って「イネ！」フォトコンテスト2023	写真募集						審査		表彰・展示			
(5) 横浜マイスター技能魅力発信事業	小中学校や各種イベント等への派遣											
(6) 大学・企業等連携事業	大学への出張講座	児童・生徒を対象とした区内企業によるSDGs講座					職業体験学習受け入れ調整		企業による職業体験学習の実施			
(7) 区制100周年に向けた情報収集と機運醸成事業	他都市事例の調査及び中区制100周年事業の検討					区内大学と連携した区内の魅力PR		「ハローよこはま」での機運醸成 (11/12)				

事業名		事業内容	
2 まちづくり推進事業		<p>中区にある歴史的・文化的資源や港・河川などの水辺等を活用した取組を進めることで、区の魅力向上につながるまちづくりを進めます。</p> <p>まちづくりの推進にあたっては、区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、更なるまちづくり活動へつなげます。</p> <p>また、「SDGs未来都市・横浜」の実現のため、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発を行うことで、区民の意識醸成を図ります。</p>	
横浜市中期計画2022～2025			
戦略6	政策29		
 <p>中区SDGsマルシェ</p>		<p>(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,234千円)</p> <p>ア 関内関外エリアを中心とした、地域の賑わいを生み出す取組を実施します。</p> <p>イ まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン策定や策定後の運用、その他のまちづくり活動等の支援を実施します。緊急性や必要性の高い課題に、関係課等と連携して対応します。</p> <p>(2) SDGs推進事業 (400千円)</p> <p>横浜野菜等の直売所「中区SDGsマルシェ」の開催を通じ、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発を行います。また、意識醸成を図るため、区内ホテル等から提供されたロスフラワー（美しい状態で廃棄されてしまう花）を活用したプロジェクトをはじめ、企業連携など様々なパートナーシップのもと、区職員や区内在住の子どもを対象とした企画等を実施します。</p>	
令和5年度	1,634千円		
令和4年度	1,634千円		
増△減	0千円		
所管課	区政推進課		


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域まちづくり活性化事業												
地域活性化の取組	← 企画検討・実施 →											
まちづくり活動の支援	← まちづくり活動支援(定例会への参加等) →											
(2) SDGs推進事業												
	← 中区SDGsマルシェ開催(毎月第2水曜日開催) →											
	← SDGs啓発(職員向け研修、講演等) →											

事業名		事業内容
3 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。自治会町内会への加入を促すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進(438千円) 自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成や新規建築マンション管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(2) 町内会掲示板整備補助事業(1,000千円) 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会(860千円) 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表するため、表彰式・感謝会を開催します。</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援(345千円) 自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(5) 学生連携事業(1,200千円) 新規 関東学院大学の学生と自治会町内会長との意見交換など若者と地域との関わりの場作りに取り組み、自治会町内会加入率の低下や担い手不足など地域が抱える課題解決の手がかりを探ります。</p> <p><参考> 地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金(市民局) 自治会町内会館整備補助金(市民局)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>自治会町内会加入促進チラシ</p>		
令和5年度	3,843千円	
令和4年度	3,343千円	
増△減	500千円	
所管課	地域振興課	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 自治会町内会加入促進	← 主に新築マンション、転入者等を対象とした加入促進支援 →												
(2) 掲示板整備補助事業			申請書受理		審査・決定、請求書受理、補助金支出(随時)								
(3) 自治会町内会長感謝会								通知・調整・準備				●	
(4) 自治会町内会活動支援													
ア 補助金交付事務							審査・決定・補助金交付						
イ 中区連合町内会長連絡協議会定例会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	4/19	5/19	6/19	7/19		9/19	10/19	11/20		1/19	2/19	3/19	
ウ 中区連合町内会長連絡協議会企画委員会	●		●	●									
エ 自治会町内会長等研修会・実務研修会	●								●				
	4/6												
	実務研修会(資料送付・個別相談) 研修会												
(5) 学生連携事業		●								●			
		学生確定	フィールドワーク、意見交換会							広報よこはま寄稿			

事業名		事業内容
4 みんながつながる地域づくり事業★ 新規		自治会・町内会をはじめとした地域の様々な主体の連携・協働による地域課題解決の取組を支援し、地域人材の発掘・育成につなげます。 (1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業 (920千円) 地域が自主的に、各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援します。イベントへの参加を通じて若い世代が自治会町内会活動に参加するきっかけづくりにつなげるとともに、多世代、多国籍の区民と一緒に地域の盛り上げに関わることも目指します。 ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助制度の新設 (みんながつながる地域づくり補助金) イ 地域イベントの広報サポート (地域人材と連携したチラシ作成、印刷、HP掲載等) ウ 区民活動センターや国際交流ラウンジとの連携支援 (2) 地域運営力向上サポート事業 (320千円) 地域が自主的に、地域の課題を考え、勉強会の成果をもとに新たに取り組めるよう、地域(連合町内会、単位町内会等)の中で課題となっているテーマについて、勉強会を開催するための専門家・コーディネーター等の派遣費用の支援や講師の紹介を行います。
横浜市中期計画2022~2025		
戦略2	政策9	
		
地域のコンサート		
令和5年度	1,240千円	
令和4年度	0千円	
増△減	1,240千円	
所管課	地域振興課	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業	← 申請書受理		●	← 審査・決定・補助金交付		→ 補助事業実施 (終了後報告書提出)						
(2) 地域運営力向上サポート事業	← 準備事務		→ 地域課題解決のため専門家・コーディネーター派遣									

事業名		事業内容	
5 商店街魅力アップ事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略4 政策20		地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街の、さらなる魅力アップと賑わいの振興を目指すとともに、商店街の課題を地域の課題として捉え、商店街活性化に向けた支援を行います。	
 <p>小学生が商店街の店舗にインタビューしている様子</p>		(1) 商店街広報活動事業 (2,700千円) 地域と密着した地元メディア (FM放送局、地域情報紙) を活用して魅力紹介、セール・イベント情報等を発信し、地域での消費促進に向けた広報を行います。	
		(2) SDGs 商店街プロジェクト事業 (800千円) 新規 商店街には、身近な買い物の場にとどまらない魅力や社会的価値がある一方、店主の高齢化や大型商業施設の進出に伴う顧客の減少などが課題となっています。 持続可能な地域社会をつくっていくために、商店街振興にSDGsの観点を取り入れ、商店街と次世代を担うこどもたちや地域の様々な団体等が連携し、こどもたちが商店街等の地域社会に愛着を持ち、地域に関わる仕掛けづくりに取り組みます。	
令和5年度 3,500千円 令和4年度 3,300千円 増△減 200千円 所管課 地域振興課		<参考> (経済局区配付予算) ・商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。 ・商店街活性化のための区局連携事業：SDGs 商店街プロジェクト事業において、経済局区配付予算 (1,000千円) を活用します。	


執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 商店街広報活動事業	契約締結 ← 企画調整・コンテンツ作成・放送(掲載) / 振り返り											
(2) SDGs 商店街プロジェクト事業	区配手続・協定 ← 企画調整・各種取り組みやイベントの実施 / 振り返り											
(参考：経済局区配付予算) 商店街活性化イベント事業補助金	● 商店街へ案内(資料送付) ← 交付申請書受理・審査 ← 交付決定 ← 事業報告書受理・審査 ← 交付確定 ← 請求書受理補助金交付											

事業名		事業内容	
6 インクルーシブスポーツ推進事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策8		インクルーシブスポーツを推進することにより、障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流の促進を図ります。 また、幅広い人々が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図ります。	
 インクルーシブスポーツ体験会		(1) 体験できる場の提供 (1,700千円) ア 体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカーの体験会を実施する(大通り公園、5月28日) イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 中区インクルーシブスポーツ連絡会等と連携し、区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 ・ポレポレまつり (10月) ・ハローよこはま (11月)	
令和5年度	2,345千円	(2) 交流大会の開催 (645千円) 幅広い区民が交流し、インクルーシブスポーツに関心がある区民が継続的に取り組むための目標となるボッチャ交流大会の開催(6年2月)	
令和4年度	2,345千円		
増△減	0千円		
所管課	地域振興課		

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 体験できる場の提供		●					●	●				
ア 体験会の開催		●										
イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置							←	→				
(2) 交流大会の開催											●	

事業名		事業内容
8 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）（2,249千円）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業、なか区民活動センター祭り（中区民祭りと同開催）、街の先生活用・PR事業、中区民利用施設スタンプラリー（秋頃）、登録団体との連携講座、なかく街の先生ガイド発行等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行（隔月発行） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）</p> <p>(2) 生涯学習事業（220千円）</p> <p>ア 地域課題解決のための地域で活躍する人材育成講座</p> <p>イ 街歩き講座「中区タウンピクニック」</p> <p>(3) 文化活動支援事業（130千円）</p> <p>共催・後援等による文化活動の支援</p> <p>(4) 読書活動推進事業（267千円）</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会（年3回）及び「なか区ブックフェスタ」の開催（10月～11月予定）</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催（10～11月）</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>中区民利用施設 スタンプラリー台紙</p>		
令和5年度	2,886千円	
令和4年度	2,886千円	
増 △ 減	0千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 区民活動支援事業 （なか区民活動センター）												
ア 人材育成・市民活動支援事業												
イ 情報提供・発信事業												
(2) 生涯学習事業												
ア 人材育成事業												
イ 街歩き講座												
(3) 読書活動推進事業												
ア 読書関連施設の連携												
イ 読書啓発イベントの開催												
(4) その他（文化活動支援事業）												


事業名		事業内容
9 ハローよこはま		<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2023」を開催します。</p> <p>(1) 基本コンセプト</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信していくことで、「区民はもとより、中区で働く人や横浜を訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけます。</p> <p>イ アfterコロナに向けて、改めて中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成をねらいとします。</p> <p>ウ 今年度は「笑顔あふれるハローよこはま～未来を担うこどもとともに～」をメインコンセプトとし、こどもが参加しやすいイベントとなるよう、各プログラムやブース出展に取り組みます。</p> <p>また、「GREEN×EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)」や「中区区制100周年」に向けた機運醸成などに関係機関・団体等と連携し取り組みます。</p> <p>(2) 開催日・会場</p> <p>ア 日程：11月12日（日）午前10時～午後4時・荒天中止</p> <p>イ 会場：象の鼻パーク</p> <p>(3) 実施内容（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民団体及び企業等によるブース出店 ・ステージでの区民団体等による活動発表 ・インクルーシブスポーツや、中区を拠点としたプロスポーツチームによるスポーツ体験等
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>ハローよこはま2022</p>		
令和5年度	2,925千円	
令和4年度	2,925千円	
増△減	0千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハローよこはま2023の開催							記者発表	●	●			
実行委員会関係	●総会 (4/19)			←部会 (必要に応じて)→								
会場関係	発注	契約 (会場設営・警備)		警備計画、会場レイアウト								
広報関係			発注・契約				制作物作成					
協賛企業・団体関係				募集								
出店関係							出店者の募集					
ステージ関係			発注・契約 (会場設営と一括)				出店者調整					
			出演者調整		業者等調整							


事業名	事業内容	
10 都市間交流事業	<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市 (344千円) : 友好交流協定 (平成26年3月締結) 平成25年3月に飯能市との間で鉄道相互直通運転が開始されたことを契機に、友好交流協定を締結。両都市で行われる地域イベント(祭り)への参加及び広報紙やSNS等を通じての相互PRに取り組みます。</p> <p>(2) 群馬県嬭恋村 (155千円) : 友好交流協定 (平成28年2月締結) 嬭恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰を契機に、友好交流協定を締結。両都市で開催される地域イベント等への参加を通じて、相互PRや誘客に取り組みます。</p> <p>(3) 岩手県釜石市 (80千円) : 友好交流協定 (平成26年3月締結) 中区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き、状況に応じた支援を実施します。</p> <p>(4) 仁川広域市中区 (121千円) : 友好交流協定 (平成22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き、協定に基づき事業を推進します。</p>	
横浜市中期計画2022~2025		
戦略4		政策22
		
令和5年度		700千円
令和4年度		700千円
増△減	0千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 埼玉県飯能市		●			●							●
・友好交流協議会 (年3回)		●			●							●
・代表者会議 (年1回)												●
・両都市でのイベント相互PR		●						●				
(2) 群馬県嬭恋村				●				●				
・各種イベント等での広報紙配布				●				●				
・両都市でのイベント相互PR				●				●				
(3) 岩手県釜石市								●				
・相互交流 (未定)								●				
(4) 仁川広域市中区							●					
・ビデオメッセージの送付							●					
	← 広報連携 (「広報つまごい」配布毎月1回、中区HPとのリンク) 通年 →											

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名	事業内容
1 区役所サービス環境向上事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策11、政策12 行政運営、DXの推進	ぬくもりある行政サービスを提供することにより、区役所への区民満足度向上を目指します。また、利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに、デジタル化の推進による執務環境の向上にも取り組み、持続可能な区役所運営を図ります。
 人権講演会の様子	
令和5年度 17,269千円	
令和4年度 15,106千円	
増△減 2,163千円	
所管課 総務課	(1) 人権啓発事業 (1,034千円) 人権が尊重される社会を目指し、区民を対象にした人権啓発講演会を開催(6年1月)します。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施します。
	(2) 区民顕彰・CS向上・ES向上・人材育成事業 (106千円) 顕著な活動を行った区民を顕彰するとともに、窓口サービスの向上のため職員向けの研修を実施します。また、職員の意識改革やチャレンジの推進を支援するため、人材育成研修の実施や所属横断プロジェクトの活動支援を行います。
	(3) 利用しやすい区役所づくり事業 (11,077千円) 感染症対策や警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善も実施します。
	ア 総合案内スタッフと連携して、警備や案内を行います。また、状況に応じた庁舎内の感染症対策に取り組みます。 イ 待合環境の改修等、庁舎環境改善を行います。
	(4) 執務環境向上事業 (5,052千円) 拡充 ICT環境の拡充を通じて、業務の質の向上・事務の効率化を図ります。
	ア 地域で説明や現地調査等を効果的に進めるため、インターネット接続可能なタブレット端末を調達・構築し、各所属に展開します。 イ 外部とウェブ会議を行うためのライセンス等を管理運用します。

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 人権啓発事業	●	←					職員研修			●	→	
推進委員会										人権啓発講演会		
(2) CS向上・ES向上・人材育成・区民顕彰事業	←											→
区民顕彰事業												
CS向上事業			●									
ES向上事業・人材育成事業	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
PJ募集												
各PJで活動												
推薦・選考・表彰(随時)												
中間報告会												
最終報告会												
(3) 利用しやすい区役所づくり事業	←											→
ア 感染症対策												
感染症対策(通年)												
イ 警備等業務委託	←											→
警備等業務委託(通年)												
ウ 庁舎環境改善												
夏季暑さ対策												
(その他庁舎の状況に応じて実施)												
(4) 執務環境向上事業	←											→
ア 業務用タブレット												
調達												
構築												
展開												
イ WEB会議	←											→
運用												

事業名		事業内容
2 広報・案内事業		<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。</p> <p>(1) 広報相談事業 (1,246千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 区ホームページでの区政情報発信 イ ツイッター及びLINEによるイベント情報等の発信 ウ 庁内職員のための広報研修 エ 市民からの提案受付 オ 団体からの陳情対応 <p>(2) 総合案内運営事業 (2,613千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映
横浜市中期計画2022～2025		
行政運営		
		
<p>横浜公園のチューリップの様子をホームページ及びSNSにて発信</p>		
令和5年度	3,859千円	
令和4年度	6,529千円	
増 △ 減	△2,670千円	
所管課	区政推進課	

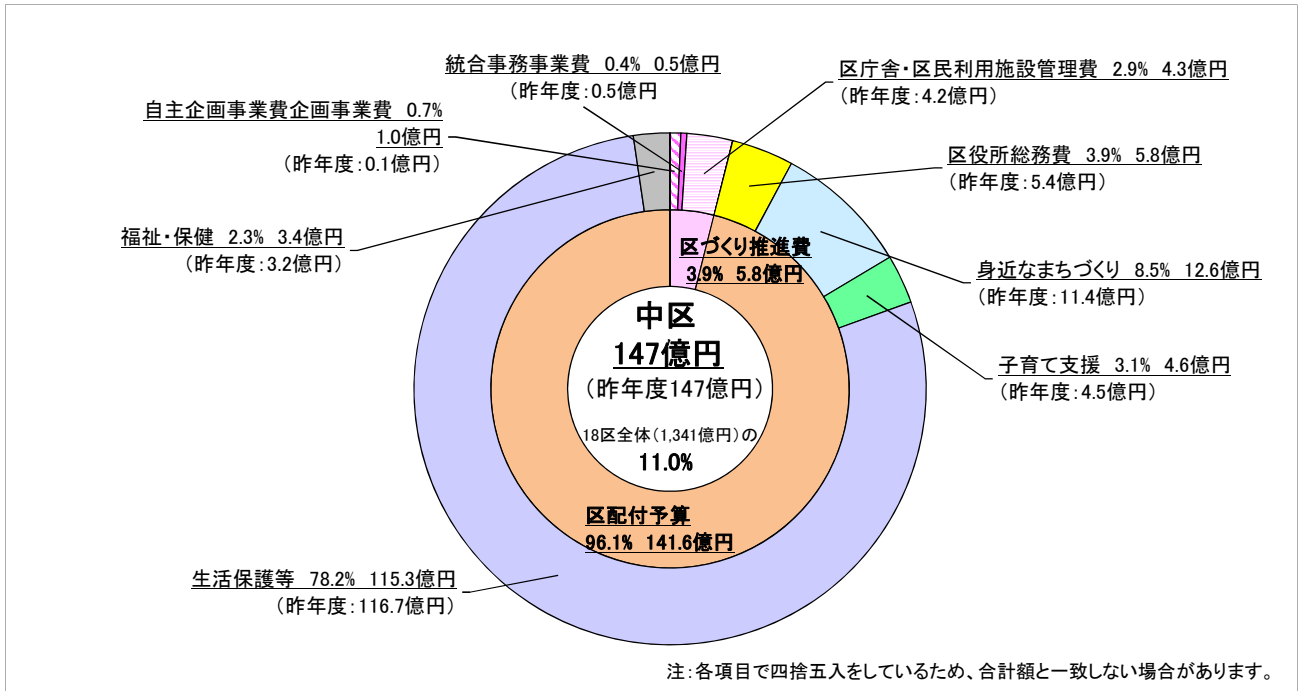
執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 広報相談事業	<p>ホームページ・ツイッター等での情報発信 広聴その他要望への対応 他 (通年) 広報研修 (時期未定)</p>											
(2) 総合案内運営事業	<p>専任スタッフ配置及びチラシの配架 (通年)</p> <p>デジタルサイネージによる動画及び画像の放映 (通年)</p>											

<参考>

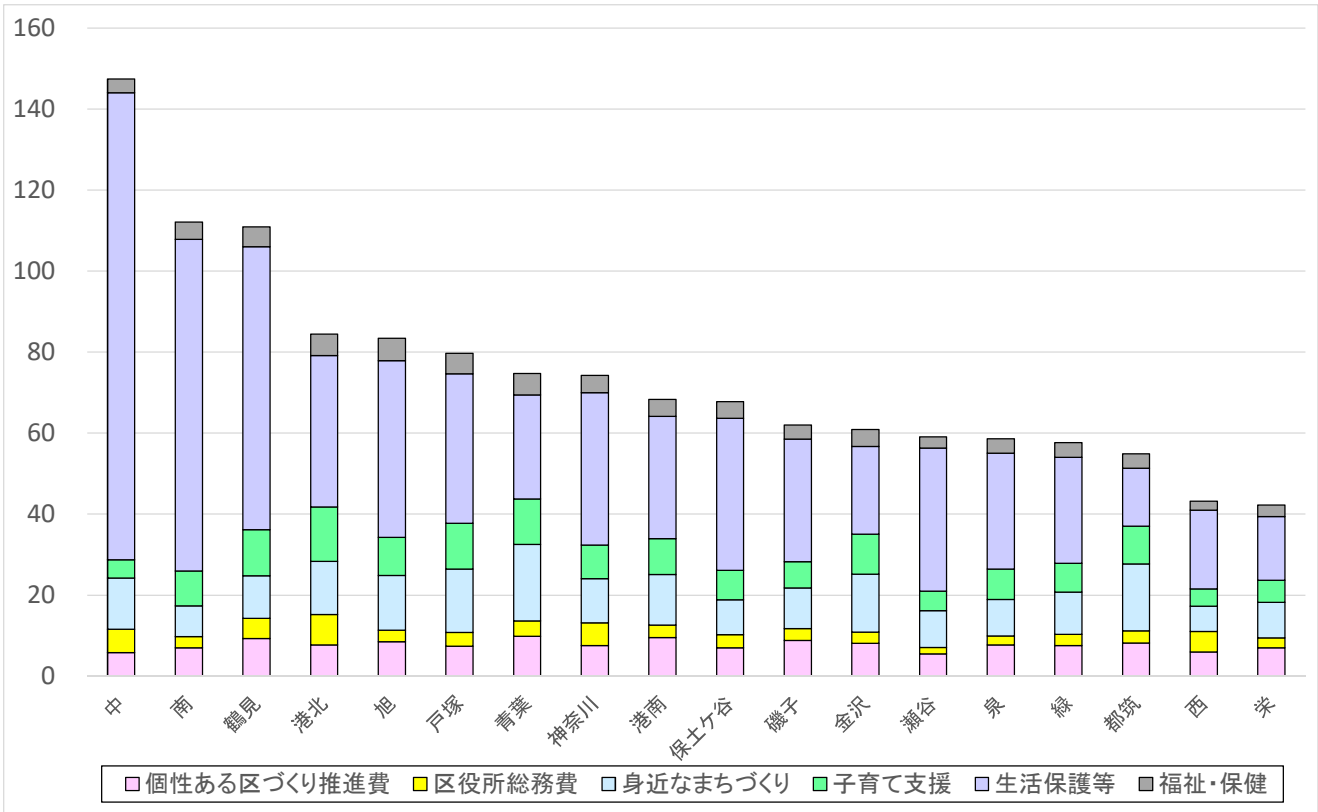
中区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計予算）

個性ある区づくり推進費や区配付予算が含まれる一般会計のうち、中区に係る予算について、次のグラフに特徴を示しました（人件費、特別会計及び公営企業会計は除いています）。

グラフ1 中区予算額の内訳



グラフ2 各区予算額の概況



主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	582	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	100	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	53	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	428	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	14,162	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	579	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	349	市税の課税・納税に関する償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	12	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	218	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,259	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,439 百万円
道路修繕費等	1,146	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	0	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(180)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	113	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	455	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	64	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	259	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
地域子育て支援拠点等	132	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	11,530	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	11,481	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	49	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	339	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	113	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	26	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	199	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	14,743	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 14,923 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)